

## とめどなく囁く

著者名：桐野夏生  
出版者：幻冬舎

リクエスト  
ありがとうございます  
ございます

塩崎早樹は、相模湾を望む超高級分譲地「母衣山庭園住宅」の瀟洒な邸宅で、歳の離れた資産家の夫と暮らす。前妻を突然の病気で、前夫を海難事故で、互いに配偶者を亡くした者同士の再婚生活には、悔恨と愛情が入り混じる。そんなある日、早樹の携帯が鳴った。もう縁遠くなったはずの、前夫の母親からだ。

## 中野のお父さんは謎を解くか

著者名：北村薫  
出版者：文藝春秋

日常の謎も文豪の謎もコタツ探偵が名推理！父と娘の名探偵コンビ日常と本の謎に挑む！お父さんの推理が冴える8篇！意外な当て逃げ犯、文豪同士の喧嘩、病床の夫が呟いた言葉の意味。編集者の娘が職場や本の中で出会う謎を父が解く、好評シリーズ第2弾

## 歴史を応用する力

著者名：宮城谷昌光  
出版者：中央公論新社

中国歴史小説の第一人者が、光武帝と呉漢、項羽と劉邦、商の湯王と周の文王の生涯をたどりながら、ビジネスや人間関係における考え方のヒントを歴史からどう学ぶかを、具体的に平易な語り口で解説する。伊藤忠商事元会長、丹羽宇一郎氏との対談も収録。

## シーソーモンスター

著者名：伊坂幸太郎  
出版者：中央公論新社

リクエスト  
ありがとうございます  
ございます

我が家の嫁姑の争いは、米ソ冷戦よりも恐ろしい。バブルに浮かれる昭和の日本。一見、どこにでもある平凡な家庭の北山家だったが、ある日、嫁は姑の過去に大きな疑念を抱くようになり…。(「シーソーモンスター」)。ある日、僕は巻き込まれた。時空を超えた争いに一。舞台は2050年の日本。ある天才科学者が遺した手紙を握りしめ、彼の旧友と配達人が、見えない敵の暴走を阻止すべく奮闘する！(「スピンモンスター」)。

## 平場の月

著者名：朝倉かすみ  
出版者：光文社

リクエスト  
ありがとうございます  
ございます

好きな人が死を迎えてしまう——泣ける恋愛小説の定石パターンでありながら、これまでにない読後感。大人版『世界の中心で、愛を叫ぶ』を目指したという本作は著者朝倉かすみさんの代表作と言いたい傑作！50歳になり、胃の内視鏡検査に行った男は、病院で中学の同級生に再会する。どちらも離婚を経て独り身。それぞれに苦い経験も積み、親の介護もある日常のなかで、遠慮がちに関係を深めていく。冒頭で女性が亡くなることが明かされるのですが、結末がわかっているからこそ、二人の関係がよりやるせなく胸にせまります。ミドルエイジの心を揺さぶる新しい恋愛小説です！

## たった一言で印象が変わる大人の日本語100

著者名：吉田裕子  
出版者：筑摩書房

ちょっと言い換えれば、印象が格段にアップ。ビジネスの場で説得力のあるコミュニケーションが取れるように、人付き合いの中で恥をかいたりしないように、お手伝いしたいと存じます。

## 思わず考えちゃう

著者名：ヨシタケシンスケ  
出版者：新潮社

リクエスト  
ありがとうございます  
ございます

電車で、カフェで、自分の家で。「ついつい考えすぎちゃう」ヨシタケ氏がスケッチと共に書きとめた、まじめな事から、世にも下らぬ事まで。たとえば一。「仕事のピンチを乗り切るには?」「いわゆる男女の仲って、何?」「他人のストローの袋が気になる」「孤独感を、どう解消するか」「明日、すごいやる気を出す方法」…。絵本作家ヨシタケシンスケの、「読むとクスツとしてホツとしてちょっとイラツとする」スケッチ解説エッセイ!

## そしていま、一人になった

著者名：吉行和子  
出版者：ホーム社

父、兄、妹、そして母あぐりへ。女優・吉行和子がいま明かす、あふれる想い。父は詩人で作家の吉行エイスケ、母はNHK朝ドラ主人公である美容師のあぐり、兄は作家の吉行淳之介、妹は詩人・作家の吉行理恵という一家に育った女優・吉行和子が、107歳まで生きた母の三回忌を終えたいまだからこそ語れる家族の歴史、そして80歳を過ぎた自分の来し方について綴る。○推薦のことは「風を受け流す柳の枝のようですね、和子さんは！さわさわと貴女はなにを語ってくれるのですか?」——俳優・藤竜也○目次第一章 母・あぐり、百七歳の静かな旅立ち第二章 私にとっての吉行家第三章 劇団民藝からはじまった女優人生第四章 兄・淳之介、妹・理恵との日々第五章 人生の残り時間を楽しむ

## 柴犬のここが好き

著者名：ここ柴  
出版者：講談社

107の柴犬たちのしぐさと行動に、クスッと笑って心があたたかくなる柴犬図鑑 思わず「ぷぷっ」と笑ってしまうような柴犬らしい“ここ”を表現したイラストと言葉で、全国の柴犬好きの心をつかんでいる「柴犬のここが好き（通称：ここ柴）」シリーズ。「それはいらないけどな〜と思うものを、大事にガードするところ」「お友だちとお尻くっつけて座ると、しっぽがからまってどっちがどっちかわからなくなるところ」「一緒にお出かけ〜と思って下りてきたけど、お留守番とわかって階段の途中で止まっちゃうところ」などなど…。柴犬の愛らしい行動・生態を描いたイラストと言葉の数々に癒されたり、時にはニンゲンである自分の行動を振り返って励まされたり。愛犬がいる人もそうでない人も、優しく幸せな気持ちになれる一冊です。

## 駒音高く

著者名：佐川光晴  
出版者：実業之日本社

リクエスト  
ありがとうございます

プロを志す中学生、引退間際の棋士、将棋会館の清掃員…。勝負の世界で歩を進める七人の青春。青春・家族小説の名手が温かなまなざしで描く珠玉の連作短編集。

## 崩壊の森

著者名：本城雅人  
出版者：文藝春秋

チェルノブイリ原発事故から1年—1987年（昭和62年）4月、東洋新聞の記者・土井垣侑が特派員としてモスクワに降り立った。当時のソビエト連邦はペレストロイカ政策が進められていたが、記者はソ連政府の管理下でしか取材をすることができず、しかも本社からは当局を刺激しないよう「特ダネ禁止」を言い渡されていた。そんな状況に不満を抱いた土井垣は、独自ネタを拾おうと精力的に街へ繰り出す。だが、ソ連政府は一記者にまで監視の目を光らせていて…。

## 夜が暗いとはかぎらない

著者名：寺地はるな  
出版者：ポプラ社

大阪市近郊にある暁町。閉店が決まった「あかつきマーケット」のマスコット・あかつきが突然失踪した。かと思いきや、町のあちこちに出没し、人助けをしているという。いったいなぜー？さまざまな葛藤を抱えながら今日も頑張る人たちに寄りそう、心にやさしい明かりをともし13の物語。

## 落花

著者名：澤田瞳子  
出版者：中央公論新社

リクエスト  
ありがとうございます

野太い喊声、弓箭の高鳴り、馬の嘶き…血の色の花咲く戦場に、なぜかくも心震わせる至誠の音が生まれるのか！己の音楽を究めんと、幻の師を追い京から東国へ下った寛朝。そこで彼は、荒ぶる地の化身のようなもののふに出会う。—「坂東のならず者」を誰より理解したのは、後の大僧正その人だった。謀叛人・平将門と、仁和寺の梵唄僧・寛朝。男たちの魂の咆哮が響き合う歴史雄篇。俊英が描く武士の世の胎動！

## カゲロボ

著者名：木皿泉  
出版者：新潮社

カゲロボというものがいるらしい—。学校で、職場で、病院で、家庭で、街角で、カゲロボは私たちをずっと見守っていてくれるのだろうか？それとも、罰するためにいるのだろうか？ささやかな「罪」と「赦し」の物語。

## インソムニア

著者名：辻寛之  
出版者：光文社

PKO部隊の陸上自衛官七名。一人は現地で死亡、一人は帰国後自殺。現地で起きたことについて、残された五名の証言はすべて食い違っていた—。第22回日本ミステリー文学大賞新人賞受賞作。

## ママの小さなたからもの

著者名：アストリッド・デボルド  
出版者：早川書房

お母さんを幸せにする絵本。子どもを育てるって、こんなにも大変で楽しくて、せつない…！—愛されてるってわかるでしょ？そうじゃないかもってきみが感じる時だって、ママはぼうやを愛してるのよ。フランスの大ベストセラー、世界18カ国語に翻訳。